

『ひらおで暮らす』を支える

ひらお

ひらお社協だより

4.14発行

2023 No.212

もど まん かい え がお
ひらおに戻ってきた満開の笑顔



けんきゅうしゅうかい
ボランティア研究集会
ひろ ば
ひらお♡ふれあい広場

3月5日、ボランティア研究集会「第26回ひらお♡ふれあい広場」が平生町ボランティアグループ連絡協議会主催で3年ぶりに開催され、205名の方が参加されました。田布施町出身のタレント松村邦洋さんをお迎えし、『熊毛郡に生まれて』と題して、幼少期の思い出や仕事をする上で心がけていることなど、ものまねを交えながらお話しいただきました。

【編集・発行】

社会福祉法人 平生町社会福祉協議会

平生町大字平生村 618-2 あいあむ

TEL 56-8000 FAX 56-8020

✉ mail fukushi@hirao-shakyo.or.jp

🖨 HP <https://hirao-shakyo.or.jp>



会場との交流を楽しめる
松村さんの様子

ひらお社協だよりは、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。

“「ひらおで暮らす」を支える”

令和5年度

実施事業／予算

～重点目標～

- 1 法人経営体力の維持・向上
- 2 「持続可能な地域福祉推進体制づくり」の継続協議
- 3 「あいあむ+」プロジェクトの推進

1 法人の経営体力の維持・向上

1) 経営体力の維持

－事業の一時休止と地域福祉推進体制の見直し

地域福祉活動の財源不足を乗り越えるためには町と連携して進める地域福祉推進事業と体制の見直しを行い、法人の経営体力の低下を防ぐための施策を検討する必要があります。新年度は補助の対象となる事業と長年住民のみなさまとともに取り組んできた「福祉の輪づくり運動」など、住民により身近な「暮らしを支える」地域福祉活動の支援の継続を優先しながら他団体や他機関での実施も可能と思われる事業などの一部休止や継続するための対策を協議し、法人の経営体力の低下を防ぐことを重点施策のひとつとして取り組みます。

2) 事業体部門の経営力強化

－行政との協働体制、役割分担の見直し

社会的な介護人材の不足問題は本会にとっても例外ではなく、事業部門の事業継続体制の維持も法人の経営課題のひとつとなっています。法人経営力の強化、経営体力の維持・向上を図るために人財資源の活用策の検討も必要です。町からの受託事業と本会の協働体制を再確認し、人財資源の確保についても町行政と調整、協議をすすめていきます。

2. 「持続可能な地域福祉推進体制づくり」の継続協議

1) 町と連携した協働推進体制づくり

－平井町における地域福祉の推進体制と地域共生社会の実現に向けて

令和3年4月の改正社会福祉法の施行により、国及び地方公共団体の責務として「包括的な支援体制の整備」、および「重層的支援体制整備事業」が社会福祉法に規定されました。こうした地域福祉をとりまく時代の流れも踏まえ、本町における地域福祉の推進体制と社協や相談支援機関、また住民に期待する役割とそ

の支援体制を確認し、「持続可能な地域福祉推進体制づくり」について継続的な協議を働きかけていきます。

2) 災害発生時の被災者支援

社協では、全国の被災地社協での経験を踏まえ、県内の各市町社協で連携して災害ボランティアセンター（災害VC）の円滑な運営体制を整えていくためのICT化や協力体制について協議をすすめているところです。災害VCの運営は町災害対策本部との意思疎通が重要となることから、災害に備えて本会に期待される役割と被災者への支援体制づくりについて、協議の場をもつていただければ引き続き働きかけを行っていきます。

3 「あいあむ+」プロジェクトの推進

本会職員の行動理念として“「ひらおで暮らす」を支える－福祉から暮らしへ”を掲げ、2040年の社会に貢献することを目指して、日々の暮らしに活力（健康・安心・豊かさ）をプラスし「人と地域と社会に貢献する」“「あいあむ+」プロジェクト”に取り組んでいきます。

1) あいあむ+健康

－健康増進（介護予防、フレイル予防）

加齢による虚弱化の予防・改善を目的とした事業（「あいあむ+ClubH2O」）を始動させ、健康寿命の延伸に取り組んでいます。自分の運動器機能の状態を知ることから始め、科学的根拠に基づく運動指導や運動習慣の獲得を支援しながら、集積したデータによる効果検証や啓発活動にも取り組んでいく予定です。

2) あいあむ+暮らし

－介護者支援、介護離職の防止

住み慣れた自宅での暮らしを支えていくために、介護者の代わりにできることとできないこと、制度の中で対応できることとできないことを整理し、介護者の負担軽減や離職の防止、高齢者等が安心して暮らせるためのサービスの創造に努めていきます。

企画総務部

- 重点目標
- ・法人経営体力の維持・向上
 - ・持続可能な地域福祉推進体制づくり
 - ・「あいあむ+」プロジェクトの推進
- －包括的支援体制構築に向けた連携・協働－

- 法人運営
- 人財育成の推進
- 地域福祉活動の推進
- 住民福祉活動の支援、ボランティア活動の支援、生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーターの設置）、いきがい・助け合い応援事業、地域公益活動、災害時支援体制強化
- 福祉教育の推進
- ひらお♡はつらつ人生の推進

- 相談機能の充実
- 地域福祉課題への対応（相談・支援体制）、各種資金貸付事業、福祉サービス利用援助事業、地域包括支援センターの運営、認知症総合支援事業
- 各種在宅福祉サービスの実施
- 広報・啓発活動
- 赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい運動
- 指定就労継続支援事業所「あいあむ」の運営

事業部

- 重点目標
- ・持続可能な事業所運営
 - ・ひらおで暮らすを支えるサービスの提供
- －在宅介護の可能性を高める－

- 各事業所の事業運営
- ・ケアセンターあいあむ
- 通所介護事業
- 介護予防・日常生活支援総合事業第一号通所事業
- 訪問介護事業
- 介護予防・日常生活支援総合事業第一号訪問事業
- 基準該当生活介護事業
- 居宅介護（重度訪問介護）事業
- 居宅介護支援事業
- ・はつらつセンター
- 通所介護事業

- 基準該当生活介護事業
- ・ひらお♡みんなの家
- （介護予防）認知症対応型共同生活介護事業
- ・さが♡みんなの家
- （介護予防）認知症対応型通所介護事業
- サービスの質の向上
- サービス内容の評価・見直し、人財育成、リスクマネジメント、地域との連携
- 在宅介護推進に向けた取り組み
- 介護者のつどいの開催
- 『あいあむ+』プロジェクトの推進
- あいあむ+ClubH2O、ICTの活用

令和5年度予算

(単位：千円)

収 入			支 出		
項 目	予算額	%	項 目	予算額	%
会費収入	1,400	0.44%	人件費支出	207,904	65.39%
分担金収入	1,353	0.43%	事業費支出	32,617	10.26%
寄付金収入	1,600	0.50%	事務費支出	10,550	3.32%
経常経費補助金収入	15,525	4.88%	就労支援事業支出	2,400	0.75%
受託金収入	8,481	2.67%	貸付事業支出	100	0.03%
貸付事業収入	100	0.03%	分担金支出	1,353	0.43%
事業収入	3,164	1.00%	助成金支出	2,330	0.73%
介護保険事業収入	221,510	69.66%	負担金支出	200	0.06%
就労支援事業収入	2,400	0.75%	支払利息支出	910	0.29%
障害福祉サービス等事業収入	9,115	2.87%	その他の支出等	360	0.11%
その他の収入等	590	0.19%	設備資金借入金元金償還支出	14,004	4.40%
設備資金借入金償還補助金収入	9,102	2.86%	退職手当積立基金預け金支出	6,796	2.14%
繰越金	43,640	13.72%	当期末支払資金残高	38,456	12.09%
合 計	317,980		合 計	317,980	

～ボランティア研究集会～

第26回ひらお♡ふれあい広場を開催！

コロナの影響で中止が続き、この度3年ぶりの開催となった「ひらお♡ふれあい広場」に、田布施町出身のタレント松村邦洋さんをゲストにお迎えしました。熊毛郡での思い出のみならず、野球や歴史の知識やものまねもご披露いただき、地域の皆さまの笑顔と活気が溢れる様子が見られました。また、幼少期からあいさつ、そしてあいさつの後の何か一言（「お仕事大変ですね」など）を心がけておられる松村さん。熊毛郡で過ごされた時間が、芸能界でさまざまな経験をする上でも活かされていくようです。終了後には、「元気をいただき、これからも活動を頑張りたいと思った」「笑いの中に大切な生き方を学ぶことができた」などの喜びの声が多く聞かれました。



ひらお安心ネットワーク協力事業者連絡会開催

3月14日、あいあむで標記連絡会を開催しました。ひらお安心ネットワークは、商店等を営む事業者の皆さまが業務の中で高齢者等から生活に関する不安や相談事を聞かれた際に相談窓口を紹介いただくことによりその後の対応につなげ、問題の予防や早期解決に向けた支援を行うことを目的としているものです。連絡会では、平生町高齢者地域包括支援センターより、最近の相談事例と対応状況について説明が行われた後、柳井地区広域消費生活センターの岡本浩司氏より消費者被害発見時の対応のポイントについて解説いただきました。事業者の皆さまからも積極的に質問や意見が出されました。



ご報告 赤い羽根共同募金実績

～皆さんのご協力ありがとうございました～

戸別募金

〈平生地区〉	
土手町東二区自治会	7,500円
〈佐賀地区〉	
大田自治会	5,500円

赤い羽根ガチャガチャ募金

6,800円

募金百貨店プロジェクト

れすとらん♡あいあむ	2,590円
赤い羽根支援自販機	
（佐賀地域交流センター）	16,387円

～募金百貨店プロジェクトとは～

“寄付つき商品・企画”を販売し、売り上げの一部を赤い羽根共同募金に寄付することにより、地域社会に貢献する企業・団体等を募集するプロジェクトです。

募集

地域福祉活動を応援します
赤い羽根共同募金

公募助成

共同募金の助成金を活用して、町内の地域団体の皆さまが取り組む『誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを推進する活動』を応援します。

令和4年度は「ひらお♡ふれあい広場」に助成を行いました。

【助成対象】

地域住民の参加、協力により福祉課題の解決に取り組む活動（令和5年度内に実施完了する活動）

【助成金額】

一活動につき5万円を上限とします。

* 予算の範囲内とするため、申請団体が多数の場合合は助成金の減額や否決となる場合があります。

【申請方法】

申請書類をあいあむへ提出

【お問合せ】

あいあむ（平生町社会福祉協議会）

TEL 56-8000

私たちのまち“ひらお”を私たちの手で住みよいまちへ！ — 福祉の輪づくり運動情報 —

おの ちく 大野地区

～運転ボランティア交流会を開催～

2月3日に大野地区社会福祉協議会の皆さんが移送サービス事業運転ボランティア交流会をあいあむで開催され、8名が参加されました。同地区では、通院や買物に行く際の交通手段にお困りの高齢者をボランティアの皆さんが専用車両で送迎する「移送サービス」を行っております。

連絡会では、令和4年度の運行実績や新規登録者についての報告の後、活動の中での気付きや留意点等について情報意見交換が行われました。

～ふれあい推進員研修会開催～

2月22日に大野地域交流センターにおいて、令和4年度第2回目となるふれあい推進員研修会が開催されました。この研修会は、日頃から見守り・声かけなどを中心とした「福祉の輪づくり運動」に取り組んでおられるふれあい推進員の皆さんに連携を強めていただくことなどを目的に開催されたもので、今回は、平生町高齢者地域包括支援センターの出前講座「今日から始めるフレイル予防」を受講された後、4月開催を計画されている「輪づくり弁当」についての打ち合わせが行われました。



それ ちく 曾根地区

～3年ぶりに実施 輪づくり弁当～

2月21日、曾根地区福祉の輪づくり運動推進委員会の皆さんが、友愛訪問活動の一環として「輪づくり弁当」を実施されました。多くの食料品が値上がりする中、ボランティアの皆さん同士でアイデアを出されながら気持ちの込められたお弁当を手作りされました。当日は、担当地区の民生委員児童委員さんとふれあい推進員さんによって、配食を希望された82歳以上126名の方に届けられました。



～ふれあい推進員研修会開催～

3月22日、曾根地区福祉の輪づくり運動推進委員会と町社協の共催で、ふれあい推進員研修会が開催されました。平生町高齢者地域包括支援センターの出前講座にて、フレイル予防のための食事や運動について受講された後、日々の見守り活動や地域の様子についての情報交換をされました。



～コロナ禍のボランティア活動を考える～ 第4回山口県ボランティア交流大会 開催

2月27日、山口県社協と山口県ボランティア連絡協議会主催のボランティア交流大会が開催され、平生町ボランティアグループ連絡協議会の役員および代表者の皆さま（12名）がオンラインで参加されました。

午前中に基調講演、午後からはボランティア活動発表とシンポジウムが行われました。基調講演では、「地域でボランティア活動を続けていくために」をテーマに、コロナ禍におけるボランティア活動の変化や活動状況、今後のボランティア活動に期待される役割についてお話しされました。シンポジウムでは、基調講演の内容をもとに、シンポジスト3市町の活動を踏まえて議論が行われました。

いまだ感染状況に不安を抱える日々が続く、活動の制限やボランティアの担い手不足といったさまざまな課題がある中、県内の市町それぞれが“ウィズコロナ”でも前を向いて活動を再開・継続していこうとされていました。



てんやくきょうしつ さんが 点訳教室に参加してみませんか？

こんねん ど てんやくきょうしつ すい じ かいさい
今年度も点訳教室を随時開催いたします。

ねんれい せいべつ けいけん と きょうみ かた きがる と あ
年齢・性別・経験などは問いません。ご興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。

かいさいにち じ まいつきだい もくよう び ぜん かい
《開催日時》毎月第2・4木曜日 10:00～12:00 全8回

ば しょ ひら お ち いきこうりゅう
《場 所》平生まち・むら地域交流センター

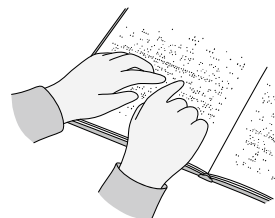
こう じ てんやく みなさま
《講 師》点訳ボランティアグループ「てんとうむし」の皆様

じゅ こう りょう む りょう
《受講料》無料

どうぐ きょうほん よう い
※ 道具、教本はこちらでご用意いたします。

ぜん かい についで しゅうりょう かた ひら おちょうしゃかいふく し きょう ぎ かい しゅうりょうしよ わた
※ 全8回の日程を修了された方には、平生町社会福祉協議会より修了証書をお渡しいたします。

【お問合せ】 あいあむ（平生町社会福祉協議会） TEL 56 - 8000



ち いきふく し けん り よう ご じ ぎょう めいしやう か 「地域福祉権利擁護事業」の名称が変わりました

ち いきふく し けん り よう ご じ ぎょう じ ぶん けいやく はんだん ふ あん かた かね かん り
地域福祉権利擁護事業は、自分ひとりで契約などの判断をすることが不安な方やお金の管理
に困っている方などが、地域で安心して生活できるよう支援する制度です。この名称が、令和
5年4月1日から「日常生活自立支援事業」に変わりました。名称は変わりましたが、これまで
と支援の内容は変わりません。

- し えん ないよう か
○支援内容
- ふく し り よう えん じ ょ にちじょうせいかつ きんせんかん り
・福祉サービスの利用援助 ・日常生活における金銭管理サービス
 - し ょるい など あず
・書類等の預かりサービス

くわ か き き が る と い あ わ
詳しくは下記までお気軽にお問い合わせください。

【お問合せ】 あいあむ（平生町社会福祉協議会）企画総務部 TEL 56 - 8000



ダーナ（布施）として
浄園寺仏教婦人会様

社会福祉資金
ラブリー平生様
平生囲碁クラブ様

香典返し

森の下沖	濱本	宏幸様	御母堂 佐代子様
田布路木	鶴田	茂男様	御尊父
尾国一区	脇田	典彦様	御尊父
土手町西	鈴木	隆様	御尊父
尾国五区	河内	和成様	御母堂
		御尊父	
		和子様	
		康平様	
		憲一様	
		正一様	

◆ご芳志ありがとうございました◆

（2/1/4/3迄
順不同）